

UPDATE!

12月1日は「世界エイズデー」です

話そう、HIVの エイズのとなりで

～検査・治療・支援～

エイズは、もう「死の病」じゃない!

HIVに感染しても、
早期治療と継続で
エイズ発症は防げるし
感染前と変わらない日常を
過ごせるんだよ



きちんと治療して
ウイルスが大幅に減ったら
相手に感染させることは
ほとんどないんだって

エイズのイメージを変えよう!!

→うらへ

Q 「HIV」と「エイズ」って同じものなの？

A HIV=エイズではありません。

HIVは「ヒト免疫不全ウイルス」のことです。HIV感染後に治療しない場合、おおむね1～10年の潜伏期間を経て、本来なら自分の免疫力で防ぐことのできる感染症や悪性腫瘍を発症します。これらの症状を「エイズ」といいます



Q HIV感染は予防できるの？

A できます。

いちばん多い感染経路は性行為です。HIVは血液、精液、膣分泌液に多く含まれています。HIVは、感染者の性行為の相手の性器や肛門、口などの粘膜や傷口を通してうつります。HIV感染を防ぐためには、必ず最初から最後まで正しくコンドームを使用することが重要です。

他に感染経路として、血液感染（注射針を変えずに打つなど）、母子感染があります。日本では現在、輸血での可能性は極めて低くなっています。また、母親が感染者の場合、HIV感染症の治療薬を飲むことや母乳を与えないことで、赤ちゃんへの感染を1%以下に抑えることができます。



Q HIVに感染しているかどうかの検査は、どこで受けられるの？

A 全国のほとんどの保健所で、無料・匿名で受けられます。

HIVに感染したかどうかを調べるためには、HIV検査を受けるしかありません。

日本では、エイズを発症して初めてHIV感染を知る人が3割で、自分がHIVに感染していると気づいていない人が、たくさんいるのではないかと推定されています。

心配が少しでもあれば、検査を受けてください。医療機関でも、希望すれば受けることができます。

HIV感染は献血では分かりません。検査目的の献血は、絶対にやめましょう。



HIVの感染力は弱く、性行為以外の社会生活の中でうつることは、まずありません。一人ひとりがHIV/エイズの正しい知識を持ち、偏見や差別をなくしていくことで、検査・治療・支援につなげていきましょう。

～お互いに理解し合い、助け合える社会を目指して～

